

2015 年度事業報告書

特定非営利活動法人 介護支援の会松原ファミリー

I 事業期間

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

II 事業報告

<全体総括>

2015 年の介護保険制度の改正に伴い、「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする」という地域包括ケアシステムが始まりました。一方当法人としては、介護報酬改定による減収に加え、利用率の低下により運営は厳しい状況となりました。このような中ではありましたが、引き続き認知症になっても最後まで住み慣れた地域で安心安全な暮らしが継続できる地域づくりを目指し活動しました。

新たな取り組みとして、“認知症サポートプロジェクトチーム”に認知症カフェの立ち上げを提案し、松原市社会福祉協議会（以下 社協）をはじめ地域包括支援センター等と開設に協力しました。

また、5 回目となるボランティア養成講座（平成 27 年度松原市公募提案型市民協働事業）では、松原市で初めて認知症の人に対する“徘徊模擬訓練”を盛り込みました。

さらに例年にも増して、介護予防普及啓発事業・家族介護教室及び、認知症を正しく理解するための啓発や講演、体操指導等を実施しました。その中で、河合地区福祉委員会と協力した、“棒体操やサーキットトレーニングを継続後の効果測定”では、継続して参加したこと、および自宅でも運動を行ったことの積み重ねによる効果が確認できました。小学生を対象としたキッズサポーター養成講座では 100 名を超えるキッズサポーターが誕生しました。

主催しているクリスマスコンサートや各コンサートをはじめ、毎年参加している城連寺盆踊り大会やえるでまつり、その他各種行事では、ファミリーボランティアの多大なご協力をいただきました。そのファミリーボランティアの方々とは、初めてのボウリング大会を開催し交流を深めました。

加えて、今年度よりの松原市の市民活動の発展を考える会への参加や、年間を通じての、地域医療介護連携推進会議をはじめ、松原市の各種委員会や他団体の評議委員会等への参加、及び地域包括支援センターや地域の高齢者の集いに協力しました。

<事業の実施状況>

1 介護保険法による通所介護の居宅サービス事業

① 地域密着型認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

デイハウス松原「ファミリー」

[内 容] デイハウス松原「ファミリー」は、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように」の理念のもと、利用者の「その人らしさ」を大切にしながら、落ち着ける環境づくりを心掛け、安心・安全で笑顔溢れる楽しいデイサービスを実施しています。利用者や利用者家族からの悩みや不安、介護の相談や要望にも積極的に耳を傾け、介護のより良いあり方について一緒に考えてきました。

介護スタッフに対しては、資質向上のため毎月の自施設研修の他、外部研修への参加を促しました。昨年度に引き続き「認知症介護実践者研修」を非常勤スタッフ 1 名が受講したほか、松原市デイ連絡会企画の「デイ相互見学会」では、多くのスタッフが他施設を見学しました。

一方運営状況は、2015年度介護報酬改定による減収に加え、前半は利用者の諸々の理由による減少で、収入面で厳しい状況でした。10月以降の後半は、利用者も増加し、まずまずの成果を得ることができましたが、全期を通しての利用者数は、1日平均8.6名と、昨年度の9.7名から減少し大幅な赤字になりました。

ボランティアの参加は、高齢化等で減少状態は続いています。昨年度より活動が始まった、「きらり活動員」（松原市介護予防支援きらり活動事業）の参加が定着してきており、松原ファミリーボランティアの皆さんと共に、ファミリーの活動の支えになっています。

[場 所] デイハウス松原「ファミリー」

[日 時] 月曜日から土曜日の9時15分から16時20分 延べ開所日 309日

[対象者] 要支援・要介護の若年性認知症を含む高齢者 延べ利用者数 2,655人

② デイハウス松原「ファミリー」運営委員会の開催

[内 容] 3か月に1回、デイハウス松原「ファミリー」の活動報告や問題・課題を継続協議しました。

*参加団体・・・利用者家族、松原介護者家族の会、李クリニック、
松原市地域包括支援センター徳洲会、
松原ファミリーボランティア、法人理事・スタッフ

[場 所] デイハウス松原「ファミリー」

[日 時] 4月23日・8月5日・10月22日・1月28日の10時～12時

2 在宅介護に関するサービス提供事業

① 介護用品の共同購入事業

[内 容] 紙おむつの共同購入を行いました。

[場 所] 介護支援の会松原ファミリー

[日 時] 随時

[対象者] 地域に居住する紙おむつを必要とする方

3 福祉に関する啓発及び推進事業

① 介護予防普及啓発事業及び家族介護教室（松原市委託事業）

「認知症介護予防教室」及び「家族介護教室」

[内 容] 地域の高齢者や市民に、認知症の理解と地域で支えあうことの大切さや、自らの介護予防の視点に立った学習の機会を提供し、介護者には認知症の理解や介護の方法、リフレッシュして介護ができるように、学習と相談の機会を提供してきました。

[場 所] 下記のとおり

[日 時] 下記のとおり

[対象者] 地域の高齢者と市民

（詳細は下記のとおり）

認知症介護予防教室

日時	内容	講師	場所	人数
2015年 5月23日 10:00～11:45	かんたんのできる 転倒予防体操	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	河合 公民館	29
2015年 7月19日 10:30～12:00	自分自身の認知度は？ ～認知症スケールを使って 「認知症」予防のために	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	芝公民館	72
2016年 2月26日 13:30～15:00	頭と身体を使った体操で 認知症予防	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	大塚 コミュニティ センター	28
2016年 3月12日 10:00～11:30	認知症予防と転倒予防 ～新聞棒体操～	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	天美北2町会 集会所	31

家族介護教室

日時	内容	講師	場所	人数
2015年 7月9日 13:30～15:30	楽しみながら 認知症予防	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	高見ヶ丘 公民館	30
2016年 2月3日 13:30～15:00	～頭と身体を使って楽しく～ 認知症予防のためのお話・体操	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリー 代表 理事 豊永雅雄	立部住宅 第3集会所	13

② 「松原市介護予防支援きらり活動事業」への協力

[内 容] 2015年3月から受入れを始めた「きらり活動員」は、14名の方がデイハウス松原「ファミリー」で活動し定着されています。今年度の参加者は延べ383名でした。
また、きらり活動員養成研修にも協力しました。

※松原市介護予防支援きらり活動事業／『元気な高齢者による「ささえ合い活動」を通して、参加高齢者の介護予防や社会参加による生きがいをづくりをすすめる』趣旨で、松原市が始めた事業。事前研修を受け、登録した参加者を「きらり活動員」という。

③ 地域の高齢者の集いへの協力

[内 容] 河合ミニデイや城連寺シニアクラブをはじめ、市内各地域で老人クラブや地区福祉委員会等が開催する高齢者の集いや、松原市社会福祉協議会主催の高齢者の集いの依頼に協力し、体操やゲーム等のプログラムの提供をしました。

西大塚公民館	西大塚地区福祉委員会	4月26日
西大塚公民館	西大塚地区福祉委員会	7月21日

天美我堂公民館	我堂地域福祉委員会	7月26日
高見が丘公民館	河合地区福祉委員会	9月10日
恵寿苑	恵我地域福祉委員会	10月19日
河合公民館	河合地区福祉委員会	5月より1回/月
立部にここ教室	松原市社会福祉協議会	金曜日(不定期)

④ 認知症や高齢者に関する講演及び交流事業

[内 容] 小中高生を対象に、認知症や高齢者についての福祉教育を目的とした講演やデイハウス松原「ファミリー」での交流を実施しました。昨年度に引き続き、保育園児の訪問がありました。

[場 所] 及び [日 時]

松原「ファミリー」	天美北保育園児	6月9日	15名
松原「ファミリー」	天美北保育園児	6月12日	18名
松原市立天美北小学校 (認知症キッズサポーター養成講座)	天美北小学校3年生	6月12日	54名
松原「ファミリー」	天美北小学校3年生	6月16日	13名
松原「ファミリー」	天美北小学校3年生	6月19日	14名
松原「ファミリー」	天美北小学校3年生	6月23日	14名
松原「ファミリー」	天美北小学校3年生	6月30日	13名
大阪府立松原高校	松原高校3年生	6月30日	約50名
大阪府立松原高校 (認知症キッズサポーター養成講座)	松原高校生	7月30日	約40名
松原「ファミリー」	松原高校3年生	7月7日	7名
松原市立天美小学校 (キッズサポーター養成講座)	天美小学校3年生	11月5日	50名

⑤ 研修・実習等受け入れ事業

[内 容] 大阪府立大学看護学部及び桃山学院大学社会学部学生の実習を受け入れました。

[場 所] デイハウス松原「ファミリー」

[日 時] 随時

[対象者] 大学生・高校生等 延べ 36名

4 福祉に係わる他団体との交流、連携及び協力事業

① 「松原介護者家族の会」への支援

寝たきりや認知症の家族を介護する当事者組織である家族会の事務局を当法人におき、会運営の支援を行ってきました。

② 認知症サポートプロジェクト

当プロジェクトは、松原市の認知症介護という地域課題に対して、積極的に関わり、地域包括ケアシステムの一組織として活動してきました。地域や専門職が認知症への理解を深め、認知症の人をサポートするネットワークを広げていくために会議を重ねました。今年度は特に、新オレンジプランにも目標として挙げられている「認知症カフェ」の松原市内での初めての立ち上げを提案し、協力しました。松原市内数ヶ所で開催中のサロンや交流会に「認知症カフェ」の機能も担えるよう働きかけています。

また、当プロジェクトで作成している冊子「まつばら認知症サポートブック」は、昨年度も認知症の人の支援のために、多くの関係者や関係機関に活用頂きました。松原市社会福祉協議会のホームページに冊子がアップされる予定になっています。

〈参加団体〉 松原市社会福祉協議会・松原市の認知症高齢者の支援に関わる専門職・松原介護者家族の会・松原ファミリーボランティア・松原市居宅介護支援事業所連絡会・松原市地域包括支援センター徳洲会

〈補 足〉 当プロジェクトチームは、2003年に認知症に関わるネットワーク構築のために、当法人が各団体に呼びかけて発足したものです。認知症についての正しい理解を深め、認知症高齢者と家族への地域支援を推進する活動を、事務局である松原市社会福祉協議会とともに進めてきました。

③ 松原市デイ連絡会

[内 容] 松原市デイ連絡会の発足以来、当法人代表理事が会長職に就いてきましたが、2015年度をもって後進に委ね、今後は新体制に協力していきます。当事業所からの参加は次のとおりです。

- ・デイ相互見学交流会（11名のスタッフが9施設を見学）
- ・事例検討会に向けての研修会（10月）
- ・事例検討会（2月）

④ 城連寺盆踊り

[内 容] 地域でより多くの方々にデイハウス松原「ファミリー」を知って頂くために、「焼きそば」「冷たい飲み物」や「クワガタ」の販売に加え、「人形すくい」や「型抜き」を出店しました。

[場 所] 城連寺公園予定地

[日 時] 2015年8月15日(土)

⑤ えるでまつり

[内 容] バオバブ福祉会「えるで」の「えるでまつり 2015」に参加してバザーを出店しました。

[場 所] 松原市立布忍小学校

[日 時] 2015年7月18日(日)

⑥ その他、外部への講演活動等

松原市役所	マツサホ°出張講座	6月19日
松原市役所	マツサホ°出張講座	7月23日
阪南中央病院	いきいき健康まつり	10月31日
クレアールふせ	ふせ支援ネットワーク	2月11日
国民會館	大阪府社労士会	2月20日

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

① ボランティア養成講座

[内 容] 松原市との協働事業「NPO発!“市民の学び”応援事業」の助成金を受け、今回で5回目となる当講座は、認知症の人が安心して地域で暮らすために、やさしい地域づくりを推進するボランティアを養成するという目的で実施しました。

例年どおり、介護者家族・松原ファミリーボランティア・スタッフの体験談、グループワーク、体験学習等を行い、特に今回は、認知症についての講演、寸劇により徘徊発見時の対応を学んだあと、松原市で初めて屋外での“徘徊声掛け模擬訓練”を実施しました。

協力団体：松原市社会福祉協議会・地域包括支援センター・松原市介護保険サービス事業所連絡会・松原ファミリーボランティア・城連寺地区福祉委員会等

[場 所] 大阪府立松原高等学校・デイハウス松原「ファミリー」

[日 時] 2015年7月30日・10月18日・11月8日・11月22日

体験日 2015年11月に5名

[対象者] 地域住民 延べ参加者 145名

② 第20回 なつかしのうた みんなでうたう ミニコンサート

[内 容] ピアノ伴奏でなつかしの歌を参加者全員で歌い、ゲスト（クラリネット・サクソ・ピアノユニット）の演奏を楽しみました。

ゲスト・・・AddOn（アドオン）アンサンブル

[場 所] ゆめニティプラザ 多目的ホール

[日 時] 2015年7月12日（日）

[対象者] 一般市民

参加者 186名

[備 考] このミニコンサートは松原市社会福祉協議会を通じて共同募金歳末助け合い募金より助成金を頂きました。

③ 地域コンサート

[内 容] 地域の方々に身近な場所でコンサートを楽しんで頂こうと、デイハウス松原「ファミリー」で始めた地域コンサートも今年度で3年目の開催となりました。毎回参加者が増え、会場も手狭となったため、新しくできた「城連寺コミュニティセンター」に場所を移して開催しました。

今回はピアノのソロ演奏や連弾、オカリナとピアノの演奏を鑑賞し、参加者みんなでなつかしの歌を歌いました。リピーターの方も多く、楽しみにしている方が増えていると感じました。

ゲスト・・・岡田陽子（ピアノ）岡田征長（ピアノ）岡田秀樹（オカリナ）

[場 所] 城連寺コミュニティセンター

[日 時] 2016年3月13日（日）

[対象者] 地域住民 参加者 111名

[備 考] この地域コンサートは②のミニコンサートとともに、松原市社会福祉協議会を通じて共同募金歳末助け合い募金より助成金を頂きました。

④ 第13回 認知症高齢者と介護者を支援するためのクリスマスチャリティーコンサート

[内 容] 松原近隣高等学校（16校）の高校生による吹奏楽や和太鼓の演奏及び合唱を鑑賞後、みんなでクリスマスソングを唄いました。若さ溢れる演奏や合唱を、多くの方が楽しんでくださいました。

[場 所] 松原市文化会館

[日 時] 2015年12月13日（日）

- [対象者] 一般市民
参加者 557名
- [備考] 会場に東日本大震災の復興支援の募金箱を設置し復興支援団体に寄付しました。

⑤ 「住民参加による認知症デイの10年～私たちの介護NPO～」を広報用資料として提供

[内容] デイハウス松原「ファミリー」の活動の歩みを記録した本「住民参加による認知症デイの10年～私たちの介護NPO～」を広報活動の一環として提供しました。

[場所] デイハウス松原「ファミリー」他

[日時] 随時

[対象者] 地域住民、一般市民、見学者

⑥ 会報発行・広報活動

年3回の法人ニュースの発行やホームページの更新などで当法人の事業の紹介と報告をしてきました。また、イベントのお知らせ等を近隣にポスティングを随時行い、活動への理解と参加を幅広く呼びかける活動を続けてきました。

III 社員総会の開催状況

[名称] 2014年度(第16回)通常総会

[実施日時] 2015年5月21日(木)18時30分

[場所] デイハウス松原「ファミリー」

[社員総数] 26名

[出席総数] 25名(内委任状12名)

[議案] 第1号議案 2014年度事業報告承認の件

第2号議案 2014年度決算報告承認の件並びに監査報告

第3号議案 2015年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 2015年度予算(案)承認の件

[審議結果] 第1号議案 全員一致で承認可決

第2号議案 全員一致で承認可決

第3号議案 全員一致で承認可決

第4号議案 全員一致で承認可決

IV 理事会の開催状況

第112回理事会<2015年4月23日(木)>

[内容] ① 全体報告

② 2014年度収支報告

③ 2015年度事業計画(案)について

④ 総会(5月21日)について

⑥ その他

第113回理事会<2015年5月14日(木)>

[内容] ① 2014年度決算報告・2015年度予算(案)

② 総会資料の確認

第 114 回理事会<2015 年 7 月 16 日(木)>

- [内 容] ① 全体報告
 ② ミニコンサートの経過報告
 ③ 収支報告
 ④ 今後の法人事業予定
 ⑤ 各委員会の報告
 ⑥ その他

第 115 回理事会<2015 年 10 月 15 日(木)>

- [内 容] ① 全体報告
 ② 収支報告
 ③ 法人事業の経過報告等
 ④ 各委員会の報告
 ⑤ その他

V 介護支援の会松原ファミリーの動向など

(1) 見学や相談、ボランティアの受け入れ

見学・相談・・・・・・・・・・・・・・・・延べ人数 37 名

ボランティア受け入れ・・・・・・・・延べ人数 1,349 名

(2) 委員会・審議会など参画実績

松原市地域福祉計画策定委員会	豊 永
松原市介護保険事業第三者評価委員会	豊 永
松原市介護保険事業計画及び 高齢者福祉計画策定委員会	隅 埜
松原市地域包括支援センター運営協議会	佐 瀬
松原市地域密着型サービス運営委員会	豊 永
松原市地域医療介護連携推進会議	豊 永
松原市介護保険サービス事業所連絡会	豊 永
松原市地域密着型サービス事業所連絡会	豊 永
松原市セーフコミュニティ 高齢者の安全対策委員会	豊 永
松原市セーフコミュニティ 自殺予防対策委員会	隅 埜
松原市の市民活動の発展を考える会議	豊 永
松原市社会福祉協議会評議委員会	豊 永
認知症サポートプロジェクト会議	林・豊永

松原市デイ連絡会 役員	豊 永
阪南中央病院評議委員会	豊 永
えるで 監事	豊 永
大阪いずみ市民生協 多機能ホーム松原運営推進会議	豊 永